

# 子供たちとのふれあいをとおして

～自分の家族同様な愛のある対応～

岡崎市戸崎町

社会福祉法人 百陽会

介護付き有料老人ホーム アルクオーレ岡崎戸崎

介護職員 高木晶

当施設は、住宅街の中にある、2階建て、29床の介護付きの有料老人ホームです。

私たちは、地域にひらけた施設を目指し日々いろいろな事にチャレンジしています。

先日初めて、中学生の職場体験を受け入れました。

その時、入居者様と学生さんが交流している姿を見た時に入居者様の表情がとても明るく生き生きしていることに気がきました。

まるで、自分の子供や孫たちに会っているかのようなようでした。

職場体験が終わった後、しばらくすると入居者様から「学生さんたちが来た日、とても楽しかったね!」「また会いたいねえ」「もう、来ないの・・・?」という声が聞かれるようになりました。

その時、「よし、また施設に来てもらおう!!」「じゃあ、地域の小学校の生徒さんに来てもらおうよ!!」と話がまとまり、小学校に足を運び、先生たちへ「子供たちとふれあう機会を作りたいのですが」と相談させていただきました。その結果、課外授業の一環として、毎月1回、1.2時間程ですが定期的に来ていただけるようになりました。

初めは子供たちも緊張していた様子ですが、職員が間に入ったり、入居者様から声をかけてくれる事で、緊張もほぐれ会話も弾むようになりました。そして回数を重ねていくと何か自分たちでも入居者様を楽しませることはできないかと色々な催し物を計画して来てくれるようになりました。

例えば音楽会、ビンゴ大会、時に手作りアクセサリを作って入居者様にプレゼントをしてくれました。入居者様も大変喜んでくださり、部屋に飾ったり毎日身に着けている方もいるほどです。

入居者様の中には、子供たちとふれあう回数が増す度に表情が変わり明るくなったり、中には身体機能の向上が見られる方もみえました。私たちの関わりだけではみられなかった2つの事例を発表させていただきます。

## 事例 1

N 様 女性 86 歳 要介護 5 病名 アルツハイマー型認知症、大腿部骨折  
移動手段 リクライニング式車椅子使用

N 様は重度のアルツハイマー病を患っており、うまく発語ができず、言葉でのコミュニケーションをとることが困難です。職員の声掛けやケアに対して、嫌な時は全身に力が入ったり、目をギュッとつぶったり、嬉しい時は目を開けて笑顔で職員を見てくれます。そのような表情や態度で私たちは N 様の意思を確認しケアにあたっています。また骨折し主治医の先生から歩くのが難しいと言われていましたが、リハビリを重ね気分が良い日は数メートルですが手引き歩行も行え、食事の際は手を添えての動作介助にて食べることができます。逆に悪い日は全身に力が入り、歩行訓練や動作介助もする事が出来ません。そんな N 様ですが、子供たちとふれあった日は笑顔も多く一緒に歌に合わせ手拍子したり、口ずさんだり、他の入居者様に話しかける姿も見られ歩行訓練や動作介助もスムーズに行えるようになりました。



## 事例 2

I 様 男性 90 歳 要介護 5 病名 認知症  
移動手段 介助用車椅子使用

I 様は若い時に事故で右目を失明し、手に障害が残り発語はありますが、意思疎通は困難です。普段食事は動作介助で食べられ、移動は車椅子介助です。時々、歩行器で職員付き添いのもとリビングから居室までの片道を歩くこともありましたが、子供たちとふれあうようになってからリビングから居室まで歩行器で往復ができ、食事はご自分で器を持って食べようとされます。

普段はあまりお話をされませんが子供たちとふれあった時は笑顔多く、昔の話をよくしてくださいます。





### まとめ

子供たちとふれあっている様子を見ていると、まるで家族と一緒に過ごしているかのようにはみえました。そんな姿を見ていると、私たちは仕事としてしか入居者様と接していないのではと感じ、今後の接し方を職員みんなで改める必要があるのではと思いました。

### 最後に

世間一般的にきつい、汚い、危険、給料が安いといわれるプラスなイメージがほぼない職業で、実際に介護の現場で働いたことがない方でもそういう先入観が強いと言われていきます。私たちでも、まわりから「大変な仕事だね・・・」と、言われる事がほとんどです。

今回の取り組みを通して、子供たちからも楽しいなど、たくさんのコメントをもらい、私たちは改めてやりがいのある仕事についていることを感じる事が出来ました。たくさんのコメントのうち1つをご紹介します。

**最初はアルコールの人たちの優しさで会話が続けていた。私はなにもできなかった。でも今は私からも自然に世間話、些細な話が出る。それが毎回楽しみ！どんなイベントよりも話すことが楽しみ。行くだけで喜んでくれるし、私も行くのがとても楽しみ。**

今回の子供たちとのふれあいをとおして、子供たちは入居者様だけでなく、私たちにも変化をもたらしてくれました。コミュニケーションやふれあいの大切さを改めて教えてくれたように思います。私たちは、これからも地域にひらけた施設でありたいと思います。